

第2回板橋区ボランティア活動推進協議会専門部会 要点記録

会議名	第2回板橋区ボランティア活動推進協議会専門部会
開催日時	令和4年12月21日(水) 午後2時から午後4時40分まで
開催場所	災害対策室AB
出席者	<p>[委員]8人(敬称略) 長澤重隆(部会長)、松村良子、田口晋、沼和子、小池睦美、矢野由加、平野江里子、林栄喜(欠席:1人)</p> <p>[オブザーバー] いたばし総合ボランティアセンター所長・副所長</p> <p>[事務局] 地域振興課長、地域振興課地域振興係職員</p>
会議の公開 (傍聴)	非公開、ただし要点記録は作成
傍聴者数	なし
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 第3回協議会振り返り(課題ヒアリングシート、現状と課題) 3 検討の流れ 4 将来像・基本理念(案)の再考について 5 運営方針(案)の再考について <ol style="list-style-type: none"> (1) あり方検討会で提言でされた運営方針(案)について (2) 設置・運営主体について (3) 役員会について 6 閉会
配付資料	<p>資料②-1 (案)第3回板橋区ボランティア活動推進協議会 要点記録</p> <p>資料②-2 第2回ボランティア活動推進協議会専門部会 検討事項</p> <p>資料②-3 将来像・基本理念(案)の再考について</p> <p>資料②-4 参考 板橋区の各ビジョン等の将来像(基本理念)一覧</p> <p>資料②-5 運営方針(案)の再考について</p> <p>資料②-6 いたばし総合ボランティアセンターの変遷</p>
事務局	<p>1 開会</p> <p>皆様お待たせいたしました。定刻になりましたので、ただいまから第2回ボランティア活動推進協議会専門部会を開会させていただきます。本日の会議でも、会議録を作成する関係から、議事の内容を録音をさせていただきます。どうぞご理解くださいませ。なお、ご発言の際には録音の関係上、マイクをお持ちになり、ご発言をどうぞお願いいたします。本日は、お一人欠席ですね。9名中お1人の委員が、欠席ですので、過半数を超えてございます。本会は正式に成立ということで、よろしく願いいたします。ではお手元に配付しました資料の確認をお願いいたします。事前にお配りできませんで、当日配布となりまして大変申し訳ございません。よろしく願いいたします。</p> <p>(配付資料の確認)</p>

部 会 長	<p>2 第3回協議会振り返り</p> <p>それでは、次第に沿って進めていきたいと思います。今から検討の流れ等、或いは将来像のことについての再考について、また、説明を受けていただきますけど、そのあと私たちのほうでは、運営方針のこれからの案について、また、内容を検討していきます。皆さんの忌憚のないご意見をよろしくお願ひしたいと思います。それでは最初の次第に基づいて、次第の2、振り返り繰り返し、前回の3回目の理事会ですね。それから、あと本日の検討の流れについても、改めてもう一度振り返って、事務局の方から説明をよろしくお願ひします。</p>
事 務 局	<p>3 検討の流れ</p> <p>(配付資料②-1、資料②-2、資料②-3について説明)</p>
部 会 長	<p>4 将来像・基本理念(案)の再考について</p> <p>前回の協議会では、基本方針や理念に対して噛み合っていない部分があったので、各委員から前回の協議会について、振り返りながらご意見・ご感想等をいただけますでしょうか。</p>
委 員	<p>(将来像について、委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の協議会で「価値」という言葉が上から目線に見えるという意見があって、本当に上からなのか、経済価値だけでなく、社会的な価値も含まれるのではないか。また「区民目線」という言葉の解釈についても皆さんの意見をお伺ひしたい。 ・前回の協議会の意見で、運営の方法や区民目線といった話があったが、細かな話になり、進まなくなるので、協議会、専門部会のそれぞれの役割の交通整理が思う。 ・SNSを活用しボランティアの裾野を若者に広げることについて、議論の中で紙ベースの今まで通りのやり方を残すことが前提というのが各委員に伝わってなかった。
部 会 長	<p>はい。皆さん、各論の話をされているので、全体の流れを理解してもらおう意味で土台となる基本方針とか基本構想とかって言われている概念を説明してきたが、あまり伝わっていませんでした。そういう概念や基本的なルールを今日この部会で出た意見や質問を次の協議会に再度提出したいです。基本方針とか基本構想は、抽象的な言葉になるので「豊かな」とかそういう言葉を使わざるを得ないです。今までの意見等を若い世代につないでいくという意味で、今回の提示・提案をしています。それについて確認しながら進めていきたいので、資料②-3を事務局に説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>(資料②-3、資料②-4説明)</p>
部 会 長	<p>はい。今私たちが持っているのは、部会案です。どれがいいというのは、言葉探しになりますけれども、皆さんから入れたイメージをこの文章でまとめてみたので、特にその分、前回こういう意見が出たからって、さらに検討を加えていきます。何かご意見をいただきましたければと思いますがいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>(将来像について、委員意見抜粋2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来像のCFとは何か？(→キャッチフレーズ、今既にあるものではない。一案である。子どもでも中学生でもわかる内容である方が良いということであったので、イメージが湧きやすくなるようにキャッチフレーズを付け、とっつきやすくなるようにしている。将来像そのものとは別枠として考えている＝事務局回答) ・キャッチフレーズはとていいと思う。検討会の内容がここに詰まっているということで良いのだろうか？(→その通りである＝事務局回答)

	<p>・将来像の検討案は長いという印象がある。一瞬で見て内容がわかるほうがよい。いたばし総合ボランティアセンターというのがそもそも長いので、長い印象を与えるのでは</p> <p>・注釈という解決もひとつありだと思ふ。他のものと比べると確かに長い印象がある。キャッチフレーズを創るのは素晴らしいと思うので、キャッチフレーズに合わせて、将来像にある「区民の多様性を活かし」を「だれもが」に言い換えてもいいのではないかと。加えて、「未来をはぐくむ」を補足する言葉を、キャッチフレーズで補足できるのではないだろうか。「未来をはぐくむ」の言葉にはバトンのような意味合いを込めていて、バトンのように、ちゃんと次の世代の方たちにとっても支援し合える関係性が繋げられるようなセンターになればいいと考え「未来をはぐくむ」を「バトン」に言い換えてもらって、キャッチフレーズに加えてもらうのも一案かと思う。</p> <p>・一案として、「区民活動の多様性を活かし」の部分は基本理念で言えば事足りるので取ってしまい、「世代を問わず」を「だれもが」に変えて、「だれもが地域と共に歩み、未来をはぐくむいたばし総合ボランティアセンター」というのを上の行のタイトルにしてしまって、キャッチフレーズを例えば「だれもが笑顔になる未来へのバトンいたボラ」というふうに入れてみるのもひとつ使えるのではないかと。</p>
センター所長	<p>「だれもが」で、すでに多様性を、「地域と共に歩み」で、現在のことを、「未来をはぐくむ」で、未来のことをうたっています。シンプルでみんなに共感してもらうことが一番なので、非常に良いと思いました。キャッチフレーズについては、「いたボラ」は野暮ったいと思います。「東京ボランティア・市民活動センター」の職員は「TVAC」としております。いたばし総合ボランティアセンターの「結まつり」で企業にシールを作ってもらっていますが、その時は、総合をGENERALにして、「ITABASHI GENERAL VOLUNTEER CENTER」としました。</p>
委員	<p>・無理していたボラと言わなくても、通称耳馴染みのあるものは「ボラセン」なら「ボラセン」でいいのでは。</p> <p>・ローマ字の羅列が多くて、混乱している、シニアはカタカナでもついていけない。</p>
センター所長	<p>・ボラセンであればまだ良いですが、いたボラはちょっとどうでしょうか。</p>
部会長	<p>こんな感じで将来像はまとまったので、今回はこれで提案するので良いでしょうか。長いフレーズはすっきりしたと思います。「だれもが」を漢字にするかひらがなにするかは考えて欲しい。基本理念についてはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>(基本理念について、委員意見抜粋)</p> <p>・長いので、キーワードに入っていたプラットフォームというのがあった方が良いのではないかと。また説明的すぎる、理念なのに説明的なのでもう少しすっきりしたい。</p> <p>・理念の中に「目的として設置する」と記載するのは変ではないか。</p> <p>「一人ひとりがよりよい日常を送るために」というのは、カットしていいのでは。</p> <p>・「区民・団体・法人に関わらず自主性に基づくボランティア・市民活動を支援していく」とか自主性に「基づく」を活動に係るようにしていくといいのではないかと。その活動をどうするか、どう支援していくかをもう少し縮められるといいのではないかと。</p> <p>・ボラセンは時勢に基づく活動を支援していくにあたって、下段部分は、最終的にはどう支援していくかを記載していくことになる。こだわりというか、ポリシーの部分の基本理念になるが、どう支援していくのかということが言えればいいのだと思う。</p> <p>センターが中心とか強化という言葉は少し上から聞こえる、ボランティア活動はもっと主体性が高く、それぞれがそれぞれを持ってやっていく中で必ずしも一つの考えや一つの方向性を出すことが正解ではない。柔軟性というか、土台になることを徹底したほ</p>

事務局	<p>うがいいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安心」も別にここに書かなくてもいい(→「安心」のところはセンターとしては重視していない=センター所長回答) ・災ボラのことはあるが、センターのことを言っているのであれば、「センターが中心となり」というのもあえていう必要性はないのではないか。 <p>「区民の暮らしを豊かにする様々な活動を推進するため、プラットフォーム機能やネットワークを強化し、人と人がつながるセンターをめざす」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォームのことを砕いて入れればいいのか、わかりやすく機能を説明できると良いのでは。 <p>(上記について補足)</p> <p>プラットフォームについては、運営手段方法として佐藤会長からもご提案いただいている仕組みになります。正直なところ、プラットフォーム機能をボラセンの機能として導入するかについては正式に決めていないところになります。このあとの運営方法についておそらくプラットフォームとブランチの2つのテーマをどうボラセンに導入するか否かが検討されるので、この段階で基本理念に盛り込めるのか盛り込めないのかを議論することになると思います。</p> <p>新しい言葉なので、先に皆様と議論を深めたところではあるが、大きな仕組みになるので、今後具体的に検討できればと考えている。もしプラットフォームという言葉を入れるようであれば、また遡って基本理念に盛り込む議論を行えば良いと考えます。</p>
委員	<p>(基本理念について、委員意見抜粋2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤会長が「ネットワークは横のつながり、プラットフォームはお互いに持っている資源を活かして変化する進化・発展する」というところで意味合いが違うとの説明があったが、運営上やっていくという意向が強いのであれば、「進化する」「発展していく」といった意味合いの文言が入ってくるといいのではないかと思う。プラットフォーム的な機能を果たすにしても、ネットワークの構築を大切にする。それはどちらにあって変わらないという認識で良いのか。それによって、「ネットワークの強化」の用い方も変わってくるのではないか。どちらにしても横のつながりを強化することも大切であるというの是不変わるという認識でいいのか。
事務局	<p>その認識で良いと思います。プラットフォームについてはここで今話をしてしまうと少し先走ってしまうと思っていたため、このあと運営の部分での議論の際により詳細に委員全員の腹に落ちてやはり必要となったときに、将来像・基本理念に書き加えるか否か振り返ってもいいのではないかと、そんな流れを想定しております。</p>
部会長	<p>さらに言葉を詰めていきたい、だいぶすっきりしてきました。少し文面が硬い気がするがいかかでしょうか。</p>
センター所長	<p>ボランティア・市民活動を推進していくためにももちろんネットワークの強化は重要ですが、その前段として重点を置いているのが「ボランティア活動のすそ野を広げる」入口をしっかりと広げる、子どもやボランティア・市民活動に興味がなかった人にちゃんと知ってもらい・関わってもらい、事業計画に「ボランティア活動のすそ野を広げる」という言葉があるので、もし今の段階でプラットフォーム機能が難しいのであれば、ネットワークの強化の前に、ボランティア活動のすそ野を広げるとか、そういう言葉を入れるのはどうでしょうか。</p>

委員	<p>(基本理念について、委員意見抜粋3)</p> <p>「様々な」が無くても成立するのでは。「区民の豊かな生活につながる活動を」を、「区民のより良い日常につながる活動」とか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動が二つあるので、「区民の豊かな活動につながる」「自主性に基づくボランティア・市民活動」、なので下の文章を上にくっつけてしまったらどうか、「区民の豊かな暮らしにつながる自主性に基づく活動」のようにくっつけてはどうか。活動を推進するためにどうするかにすると短くなるのではないか。 ・「すそ野を広げる」を「参加しやすいボランティア活動」と言い換えてもいいか。そうすると、「区民の豊かな生活につながる参加しやすいボランティア活動を推進するため」という風にしてもいいのではないか。 <p>自主性に基づくという言葉が硬いため、そこの対比に違和感があると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何か優しい言葉に置き換えられないか考えている。 ・区民・団体・法人に関わらずはいれなくてはいけないのか。
事務局	<p>部会案で、ボランティア・市民活動とあるが、今、ボランティア活動だけで、市民活動が抜けてしまっているのでは、それを入れてもいいか。ボランティア活動と市民活動は別のものであると解釈される方もいるので。</p>
委員	<p>(基本理念について、委員意見抜粋4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本理念にネットワークの強化といれるのか、具体的な話になると思うが、人と人とのつながりを強化するとか。 ・区民の豊かな生活につながる参加しやすいボランティア活動を推進するためのネットワークということが良いのか。 ・人と人をつなげていくという表現でネットワークを表わすことができるのではないか。 ・子供たちやボランティア活動をしたことのない人が参加しやすいボランティアで理解しているのか。(→そうである=センター所長) ・「区民・団体・法人に限らず」を「～推進するため」の後に持って行ってはダメか) ・自主性に基づくネットワークを強化し、とつながるようにするという事か。 ・でも、横のつながりを強化することと、自分の意志でやっていることの2つを言いたいんですね。
部会長	<p>自主性は、やはりボランティア活動は自主的だということでもいいんですね。</p>
事務局	<p>どうしても「自主性に基づく」というのは外さないワードにしてもらいたいです。ボランティア・市民活動はいろんなところが旗を掲げてやることは可能だと思いますが、私たちがボラセンで求めているのは、私たちが協働設置しているのは、自主性に基づくボランティア・市民活動でそこは大事にしていかななくてはならないです。ですので、基本理念のところでは、ボラセンがやっていかななくてはならないところを外さずに載せていただきたい。「自主性に基づくボランティア活動を支援していくということ」と色々な活動があるが、それを推進することとネットワークを強化することはボラセンのやらなくてはならないことであるため、キーワードとして残していただきたい。今回はボランティアセンターのやるべき将来像です。</p>
委員	<p>(基本理念について、委員意見抜粋5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主性に基づくのはネットワークではなく活動。 ・自主性に基づく参加しやすいボランティア活動のいいのでは。 ・気になるのは、推進するために何が必要なのかという内容にネットワークの強化だけ

	<p>なのはどうか、例えば、共創、未来をはぐくむために何かを作り出す・生み出すというの必要なのではないか、関係性を創る活動であったりとか。</p> <p>・確かにネットワークの強化だけが強く打ち出されてしまうのは気になる。</p>
部 会 長	<p>人と人がつながるためのセンターを目指していくということではないのか、センターの任務として何があるかと話しているので、「そういうセンターをめざしていく」というオチでいいのではないかと思う。</p>
事 務 局	<p>今回のビジョンはセンターの新しいビジョンになりますので、いたばしをめざしていくとすると、めざすものが大きすぎるかと。</p>
委 員	<p>ボラセンでいいのでは。</p>
事 務 局	<p>ボラセンとか、ボラセンがどう目指していくのか、人と人がつながるボラセンとか、いたばしだと大きいので、ボラセンも一つの案だと思います。</p>
委 員	<p>たとえば「人と人がつながる」の間に、「人と人が共創しつながるボラセン」はいかがか。</p>
委 員	<p>強化しと競争しで、「し」がぶつかってしまうので、「ネットワークの強化と人と人が共創しつなげていくボラセンをめざす」にしたらいかがか。</p>
部 会 長	<p>区民・団体・法人に関わらずというのがどうもつながらない。ここにあるのにひっかかる。「区民の豊かな暮らしにつながり、区民・団体・法人など自主性に基づくボランティア・市民活動をひろげるため、ネットワークの強化と共創によってつながるボラセン」時間が足りないため、仮でこれにし、宿題としようと思います。</p>
事 務 局	<p>時間もあるので、意見を事務局で集約して仮案としてご提示したい。</p> <p>ネットワークの強化という言葉があるが、新しいプラットフォームの機能が認められれば、プラットフォームを構築しや、活用しといった言葉を使うと、めざすものが新たな仕組みによって生まれるといったイメージに繋がるため、プラットフォーム機能を取り込めれば、ネットワークの強化のところにプラットフォーム機能を入れると佐藤会長の意向もあるので、そんな案もあるのかと思います。また事務局でまとめて皆さんにお示ししたいと思います。</p>
	<p>5 運営方針（案）の再考について</p> <p>(1)あり方検討会での運営方針(案)の提言内容確認</p> <p>(2)設置・運営主体について</p> <p>(3)役員会について</p>
部 会 長	<p>ボランティアに関わる人が何万人と存在する中で、ボラセンが様々なかたちで受け入れられてしています。</p> <p>設置主体を四者という括りの中でやっていくのかという是非が問われております。NPO法人という括りが単にNPO法人だけではすまなくなってきていて、区民の方、グループ、法人そのほかの事業主体の人もいて必ずしもNPO法人という括りではなくなっています。活動は広がりを見せており、まさに多様性が広がっており、それを四者という枠組みではなくて、別の表現の中で、運営主体をどのように記載するのか、ある程度枠組みを決めて、そしてどうやって関わってもらおうのかというのが今回の議論の話に</p>

	<p>なります。</p> <p>どんな形で模索していくかだけでも意見をお願いします。</p>
委員	<p>NPO 法人はこれだけ増えているが、NPO 法人は簡単に作れる。その NPO 法人が独立採算できているのかといったらほとんどできていない。自分たちも NPO 法人だが、これだけの事業を行うとなるとそれなりの母体がいるとなったときに、社協くらいしっかりしていないと受け入れるところはまずない。もしくは大企業でこういう事業に参入するといったところでないと難しい。ただ、協働で運営をしたいという話であれば、四者というのはまず実現不可能だと思うので、区内のステークホルダーという感じで、区内の法人だろうが、社団法人だろうが、企業だろうが、とにかくボランティア・市民活動をしたいという人たちが集まって協働でやっていく。そのベースはやはり社協ではないか。</p> <p>今後東京でも大震災があったというときに、ボラセンと災害ボラセンは活躍していくと思うが、あり方検討会ではボラセンと災害ボラセンは別になっていると思うが、区民の方は別だということが理解できないと思う。それも含め、ボラセンというもののあり方は確固たるものがあり、災害でない普段の活動を支えるという部分で、協働でいろいろな事業をすすめていく。ひとたび災害になったときには一本化されていく中ではベースは社協でないと難しいのではないか。</p>
委員	<p>18 年前に作ったものから 18 年たっているもので、今のニーズにあったものを創っていかなくてはいけない。今板橋の川が氾濫するかもしれないという時にさっと動いてくれるボランティアセンターであってほしいと常日頃言っている。電話を 50 本引いたり是一般社団や NPO 法人にはできない。また、板橋区で洪水が起こった場合には、板橋のボラセンだけでは対応できないかもしれない。その時に連携が取れる先として東京ボランティア・市民活動センターがあるというのは心強い。協働設置者のところを特定の人にしないというのはわかる。</p>
委員	<p>ステークホルダーを使えるならそれも一つの案だと思う。</p> <p>協働者の例示の中に、自主性及び実効性を伴う団体のようにうたうと自ずと縛られていくのではないかと思う。</p>
委員	<p>社協だけではなく、他の団体でも担えるようにするとのことだが、平成 23 年から前 NPO 法人がプロポーザルで選ばれた時に、社協がやっていたボランティアの事業を切り離すか、整理するかして、NPO 法人ができる事業に平成 23 年の時点ですていければ、結果が変わったのではないか。今回も変えるのであれば、既存の事業の見直しが必要なのではないか。</p>
事務局	<p>次のプロポに向けての事業の見直しはできると思う。ただ、まずはどういうボラセンを創りたいのかというビジョンをまとめて提示していくのが、来年度までの議論になる。</p>
委員	<p>今回は、いつまでの理念なのか提示してもらえると良いと思う。</p>
事務局	<p>次の議題で提示しようと思っておりましたが、2030 年までを目途としたビジョンにしたいとお示ししたいと考えております。</p>
委員	<p>柔軟に対応できることが大事だと思う。事務局はきちんとした法人が担っていただければと思う。</p>

部 会 長	<p>表現をどうするのか。今ある表現ではいけないというのはまちがいないと思うが、基本理念や将来像というものは考えついたが、ボランティア活動はどんどんすそ野が広がっていくのでそれを束ね、核となれる事務局体制、運用が出来る担い手が誰でもいいとは言えなくなっているが、現実の実態を伺っていく中で、数ある任務ができる運営主体（法人）に担ってもらおう。NPOと縛ったりせず、その機能を担ってくれる法人を主体としていく。実際には組織を役員会等の人たちが入って運営していく、あるいはそういう事務局体制にしていくことを表現できればということだと思う。</p>
事 務 局	<p>今の意見を踏まえ、事務局で考えて、またお諮りしたいと思う。</p>
委 員	<p>四者協働というのはうたわずに。</p>
事 務 局	<p>四者協働という言葉に注釈を入れていく事も考えている。解釈の問題だと思っているが、いずれにしても協働設置しているということがわかる文言にするために考え、事務局で整理しお示ししたいと思う。</p>
委 員	<p>役員会にどういうメンバーを据えるのかがプロポーザル等の基準になるのではないか。多様性を認めて役員会にこれだけの人が呼べるというのもひとつ。偏ったりとかなないようにするのもひとつ。</p>
部 会 長	<p>NPOという言葉がひっかかります。そういったものに拘らず、区民、区内にある法人といったような対応もできると思うので、今のところは事務局にまとめてもらう予定です。</p>
事 務 局	<p>6 閉会</p> <p>そろそろ時間も来ましたので、第2回目はここまでということ。事務連絡はありますか。</p> <p>皆様ありがとうございました。いろんな貴重なご意見をまとめさせていただいて、今回は将来像と基本理念の部分になりますので、そこに反映できるものを事務局並びに先生と詰めていきたいと考えております。そうしましたら、次の第2回の専門部会の日程の候補日ございます、次第の方の一番下にあります専門部会、3月9日午前中10時から12時の約2時間程度を予定しているのですが、いずれかご都合の悪い方、いらっしゃいますでしょうか。今日出席されていない1名の方もいらっしゃいますので、確認をしてメールでまたお伝えをしたいと思います。</p> <p>それでは時間になりましたので以上をもちまして、第2回ボランティア活動推進協議会専門部会を終了いたします。皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>
所 管 課	<p>区民文化部地域振興課 地域振興係 （電話 3579—2163）</p>